

令和3年度 事業計画書

社会福祉法人 春献美会 みなみさいごうのぞみ保育園

- ・ 保育園が、子どもにとって安心して生活ができる場、保護者にとって子育ての共感・共有ができる場となるよう、対話を大切にし、ご意見・ご協力をいただきながら運営をしていきます。
- ・ 園周辺の環境を活かし、園外探索や地域の方との交流を深め、地域の中で子育てができる育ち合いの場づくりを大切にしていきます。
- ・ 開かれた保育園を目指し、保護者や地域への情報提供や情報開示につとめると同時に、防災・防犯計画の策定や個人情報保護にもつとめ、園としての運営基盤を築いていきます。

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	常勤保育士数	定員	備考
きのこ	0歳	3	9	
きいちご	1歳	3	18	
どんぐり	2歳	3	18	
まつぼっくり	3歳	2	31	
かえで	4歳	2	31	
さくら	5歳	2	31	
合計		16	138	

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 294日
25	24	26	26	25	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	24	23	22	26	

ウ 健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差（個性）を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

- [1] 日常養護・健康管理
- [2] 病気の予防と早期発見
- [3] 安全と事故防止
- [4] 健康増進と保健指導

[4] 健康増進と保健指導

[5] 環境衛生

年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	全園児（年2回）
視力検査	4歳児（年1回）
歯科健診	全園児（年1回）

エ 保育方針

- ・あたたかい見守りの中で心地よく過ごせる環境を提供していく。
- ・ひとりひとりの良さを伸ばせるように育ちを援助していく。
- ・家庭との連携を密にして信頼関係を作り、子育ての楽しさを共感しあう。
- ・地域・保育園・家庭が支えあって子育ての輪を広げていく。

オ 各組の保育目標

さくら組（5歳児）の年間目標

- ・一年を通して様々な行事に取り組み、仲間と共に1つの目標に向かい主体的に行動して充実感を味わう。
- ・自分で出来ることの範囲を広げながら、生活に必要な習慣や態度を身に付け、その大切さを理解して行動する。
- ・生活を通じて経験を広げ、友だちとの繋がりや異年齢児との関わりを深める。

かえで組（4歳児）の年間目標

- ・友だちと思いを伝え合いながら関係を深め、集団で活動することを楽しむ。
- ・基本的な生活習慣を身に付け、自分から進んでやろうとする。
- ・様々な活動に意欲的に取り組む中で、楽しさや、やり遂げた喜びを感じる。

まつぼっくり組（3歳児）の年間目標

- ・基本的な生活習慣を身に付け、自分でできる喜びを感じる
- ・自分の思いを出しながら保育士や友だちと遊んだり、生活したりすることを楽しむ。

どんぐり組（2歳児）の年間目標

- ・保育士との安定した関わりの中で、生活に必要な身の回りのことを行い、自分で出来た喜びを感じる。
- ・自分の思いや気持ちを言葉で表現したり、やり取りを楽しんだりする。
- ・保育士の仲立ちによって、模倣遊びやごっこ遊びを楽しみながら友達との関わりを楽しむ。

きいちご組（1歳児）の年間目標

- ・保育士との信頼関係のもと、安心して生活しようとする。
- ・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。
- ・様々な遊びを経験する中で、好きな遊びを見つけ、保育士や友だちと一緒に楽しむ。
- ・思いや欲求を身振りや言葉で保育士や友だちに伝え気持ちを表す。
- ・生活や遊びで経験したことを真似したり、自分なりに表現して楽しむ。

きのご組（0歳児）の年間目標

- ・保育士との信頼関係をもとに、生理的・心理的欲求を満たし、生命の保持・生活・情緒の安定を図る。
- ・発達に応じた適切な援助により、離乳、運動機能の発達、発語の意欲を育む。

カ 主な行事予定

別途添付

キ 食事

[1] 目標『楽しく食べる子』に育てる。

- | | |
|------|---|
| 配慮事項 | 薄味、和風献立に心がける。
旬の素材を使った献立作りを心がける。
見た目においしく、食べておいしい食事づくりを心がける。
保護者との連携を密にする。 |
|------|---|

[2] 食育

- | | |
|-------|---|
| 毎月 | 予定献立表の配布をする。 |
| 給食だより | 保育園の食事の紹介や栄養情報などをまとめ、月1回発行する。 |
| 食を考える | 月1回の給食会議にて、献立についての感想や反省、改善などや提供された食事への感想・反省、改善案などを出し合い、おいしく子どもの健康維持のための食事作りを進めていきたい。また、食育を含め食全般についての研修、話し合いの場として行きたい。 |
| 展示食 | 玄関に、その日の給食の見本や旬な食材を展示する。 |

[3] 衛生管理

- 衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目にそって確認している。
- 調理人の細菌検査（毎月1回） 調理室・乳児調理室の掃除、ワゴン清掃（毎日）、冷蔵庫消毒、食器洗浄後熱風庫にて保管原材料・調理済み食品の保存（2週間）をしていく。

[4] 離乳食に関して

- 個人差を考え、無理のない離乳を進めていく。1歳児の食事に関しては、離乳食（完了食）後、間もないので7か月までは、そのまま離乳食（完了食）を準備

し、さらに充実させていく。アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子どもの症状により対応し、医師の意見を基に必要により除去解除できるようにしていく。

<離乳食の進め方>

- ① 食べ易い形で…子どもの状態にふさわしい形状で提供。発達に応じて手づかみ食べを十分にし、咀嚼を十分に経験できるようにする。
- ② 栄養と食品のバランスを考えて…準備期は別として、ある程度進んだら離乳食の中に穀類・タンパク質類・野菜の三種類を合わせる。
アレルギーをおこしやすい卵については、中期食迄使用しない献立にする。
- ③ 薄味で…調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理する。

ク 安全管理

非常災害時の避難訓練（毎月）

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任保育士	1名
保育士	12名
調理員	3名（栄養士含む）
看護師	1名
事務員	1名
嘱託医	2名（非常勤）
非常勤、パート	3名

イ 健康管理

健康診断	1年	1回
細菌検査	毎月	

ウ 職員会議

- ・職員全体会議毎月1回
- ・クラス会議週1回
- ・幼児会議毎月1回
- ・乳児会議毎月1回
- ・給食会議毎月1回

エ 退職・福利厚生

- ・福祉医療機構退職共済制度加入
- ・整体
- ・小笠掛川勤労者福祉サービス加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

(2) 備品関係

- ・備品購入予定
- 災害用品等（施設設備強化加算利用予定）

(3) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1回

内、引き渡し訓練1回

イ 不審者対応訓練

年2回

ウ 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回）

エ 非常食糧の備蓄

$(\text{全児童数} + \text{全職員数}) \times 3 \text{食} \times 3 \text{日分}$

3 保護者にむけて（保育への理解と協力の促進）

ア 保育参加・参観

保育参加は6月～10月及び1月とし、希望の保護者の参加を受け入れる。

年1回参観会、夏まつり、運動会、発表会を行い、園児の成長をご覧いただく。

イ お知らせ

・園だより毎月1日に発行

・クラスだより毎月1回以上発行

- ・保健だより毎月1日に発行
- ・給食だより・献立表毎月1回発行

4 地域社会との連携

- ・子どもが安心してのびのび遊べる場となるよう、園庭開放や園行事にも積極的に参加できる場とする。
- ・地域住民が様々な形で自由に参加し、相互関係、交流を深め、地域の中で育つ子ども環境を醸成する。

《園庭開放》

- ・地域の子育て中の保護者を対象に毎週水曜日に園庭開放を行い、親子の交流、保育士との交流、園児との交流を図れるようにする。その中で育児相談なども受けることができるようにもする。

《その他》

- ・保育園でボランティアを常時受け入れる体制を整える。
- ・地域を意識して町内会の一員となり、関係を築いていく。
(世代間交流)
- ・地域の小学校・中学校・高等学校と連携を持ち、ボランティア・お仕事体験・子育てボランティアの育成を積極的に受け入れる。

<情報提供収集による支援>

- ・園便り、クラス便り、また関係機関（市役所、徳育保健センター）等からの情報を掲示し、子育て中の親子に提供する。
- ・園外（地域など）から意見も取り入れられるように利用者や近隣の方から寄せられる情報を把握する。

<園内活動への参加>

- ・随時寄せられる育児相談（電話・来園）に対しても温かく対応し園長、主任が親身になって対応する。
- ・園庭開放を行い、気軽に園児との交流ができるよう気持ちよく迎え入れる。